

平成 30 年 第 7 回 三朝町教育委員会 臨時会 日程

と き：平成 30 年 6 月 23 日（土）午前 9 時 00 分

と ころ：三朝町役場 第 4 会議室

1 開 会

2 前回議事録承認

大丸委員、藤井委員

3 議事録署名委員指名

4 報告事項

5 議 事

6 協議事項

三朝町小学校の今後のあり方について

（2校先行、3校同時統合のそれぞれのメリット・デメリット）【別冊資料】

7 その他

8 閉 会

次回定例会：平成 30 年 6 月 26 日（火） 13：30～ （参考 H29.6.26：月）

協議事項

三朝町小学校の今後のあり方について（2校先行・3校同時のメリット・デメリット）

○2校先行統合の場合

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> ・教育のプロである教職員が三朝の子ども達に係ってくれる恩恵は大きい。3校同時統合すれば、小学校教職員は今のほぼ半数となる。 ・少人数だからこそできる子どもへのきめ細やかな対応が望める。世知辛い今の時代だからこそ少人数教育の良さを大切にしたい。 ・東小は地域コミュニティーの核として大きな役割を担っている。存続は地域の活性化振興に繋がる。 ・町内1小学校・1中学校では9年間同じメンバーになる。2つの小学校から中学校で一緒になることは、教育面である種の刺激になり悪いことではないと思う。 ・特に急ぐ南小と、現在でも継続可能な東小の立場が、尊重できる。 ・この方針を教育委員会として出している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・統合に関する手続きは膨大なものだ。それを2回繰り返すことになり事務的負担が大きい。 ・形式的に吸収統合になる。 ・南小保護者及び地域協議会からも反対意見がある。 ・教育委員会では、3小学校で新しい学校をつくって後で東小が入ると考えていたが、議会や地域協議会の指摘どおり、東小が分校扱い、その後吸収という形になりがちである。 ・3小学校が集まるのに比べて、統合準備に快く取り組めない可能性がある。 ・町長部局も地域協議会も再考を願っているし、議会でも3校統合に向けた取り組みが言われており、住民の中でも3校統合と考えているので、2校は難しい。 ・複式学級支援費が継続。 ・統合に向けた西南東3校の準備のモチベーションが落ちる。 ・不要な転居が懸念される。
<ul style="list-style-type: none"> ・児童数の少ない南小の教育活動の展開に支障を来している状態を解消することが出来る。 ・南小の児童が、これからの社会を生き抜くために必要な多様な考えに触れることが出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・南小より多少、児童数が多い東小の場合でも同様ではなかるうか。男女数に極端な偏りがある学年では尚更。地域の方々の協力で素晴らしい教育がなされているのは承知しているが、ある程度の人数での学校生活は大事であり、集団の規模が小さかったことによって出来なかった幅広い指導や活動が出来るようになることも大事なことと思う。 ・いずれ3校が統合することを前提に校名を決めたとしても、東小と一緒にになるときは、意識はともかく実態は吸収となる。 ・吸収統合の意識を回避するには、再度新たな小学校を立ち上げることが必要となり、2校で先行して統合することは仮統合という感は否めない。 ・統合に係る作業は2回となる。 ・統合した学校で、南小は西小に入り、東小は新小学校の東校舎または東分校ということが制度や地元感情から可能かどうか。

○3校同時統合の場合

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> ・町内の子ども達に教育の機会均等を図ることができる。 ・スポーツ・文化面で多くの種目や演目に触れる機会がある。 ・6地域協議会の支援を一同に得ることができる。 ・一度に集結という形から、3校が集まって新しい三朝の小学校を作っていこうとすることができる。 ・3校同時と考えている町民が多く、全町で統合に取り組む形になりやすい。 ・子どもたちも多数の価値観の中で、学習したり、遊んだりできる。 ・新校舎設立への動きが活発化すると考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1回で統合は完了するが、どのみち新校舎建設は必要であり、いずれ引っ越しがある。 ・西小が3校統合校舎として教育環境整備の面で十分機能を果たせるかどうか不安だ。 ・保護者の考えも揺れ動いている。 ・とにかく、準備期間が短い ・教室をはじめ、ハード面での準備期間が短い。 ・これから、3校とも閉校、統合の準備は大変である。 ・一度、教育委員会から、議会、町長部局、地域協議会等に説明しているの、撤回には大きな責任と労力が必要である。 ・新聞記事になっていることもあり、全町が揺れ動く。 ・今の西小の校舎では2校先行に比べて、問題点も増加する。 ・3校が同時に西小に入るということに、現施設、設備は十分に対応できるものではないが、南小だけが入る場合でもそれは同じことと思われる。新校舎が出来るまでは十分ではないにしてもそれなりの対応をしてもらって乗り切るしかない。

3校同時統合のメリット

町内の子ども達に教育の機会均等を図ることができるといえる。

南小の教育活動の展開に支障を来していない状態を解消することが出来る。

ある一定時期までは、2クラスづつ維持でき、3クラスづつ学習機会が確保でき、学習環境が向上する。

地域協議会の協力が下、統合が急ピッチで進められる。

6地域協議会の支援を一同に得ることが出来る。

全町子どもたちも多数の価値観の中で、学習したり、遊んだりできる。

ある程度の人数であれば、学校の規模が小さいから、集まった活動の幅が広がる。また、指導や活動のやりやすくなる。

3校統合の場合はクラス替えも可能となる。

3校同時と考えると、市民が多く、統合になりやすい。

スポーツ・文化面で多くの種目や演目に触れる機会がある。

(南小の児童にとっ(て)これからの社会を生き抜くために必要となることを考えるようになる。

東小の場合、男女数に極端な偏りがある。学年では尚更である。

新校舎設立への動きが活発化すると考えられる。

3校が集まって新しい三朝の小学校を作っていくことができる。

3校同時統合すれば小学校教職員はほぼ半数となる。

1小学校、1中学校では9年間同じメンバーになる。

西小校舎では2校先行に比べ問題点もある。

新校舎建設は必要であり、再度の引越しがあがる。

西小校舎が教育環境として不十分である。

3校が西小校舎を使う場合、施設、設備が不自由分である。

新聞記事になり、全町が揺れ動く。

保護者の考えも揺れ動いている。

地域の協力で支えられた南小・東小の教育活動が維持できるか不安である。

3校とも閉校、統合の準備は大変である。

準備期間が短い。

新校舎でできるまで、現在の校舎で対応するしかない。

小中一貫教育を検討しやすくなり、学習進度の調整がたやすくなくなり、小中一貫教育が取りやすくなる。

小保連携の取り組みが行いやすくなる。

保育園通園区域の自由化の影響を受けやすい。

人財、資財、資金を集約できる。(特別支援学級、複式学級、学校運営事業、学校振興事業)

複式学級支援費用が節約できる。

複式解消に係る費用が不要となる。

3校同時統合のデメリット

教育委員会から協議町長等に説明しては必要で、撤回には大きな責任と労力が必要である。

2 校先行統合を決めた理由

平成 28 年度に議会に教育委員会決定を否決された時、教育委員会が説明してきたことは、東小は統合したくないというところを新校舎に入って新しい教育をしましょうと呼びかけ、新校舎で夢のある新しい教育をしてくれるのなら入るということで合意していただきました。

しかし、それが否決されて、平成 30 年に新校舎ではなく現在の西小学校に 3 校が入ることになったとき、統合反対の要求書が両校（東小・南小）から提出されました。教育長の東小学校の保護者への平成 30 年 3 月 14 日の説明会でも、東小は新校舎があるから統合に賛成したわけで、再考とされてから要求書のこと何一つ出来ていないのに、3 校同時統合を要求されるのか納得いかないという意見がほとんどでした。

教育委員会としては今後、どういう教育をしていくのか、他町からも「三朝町はこういう教育をしている、こういう小学校を作ろうとしている。だから、行ってみようじゃないか、住んでみようじゃないか。」そう言われる小学校、学校教育を中学校もあわせてしっかり話し合い確立して、どういう校舎を建てるという見通しが出来て初めて東小に納得していただけるのではないかと考えています。長い間、東小校区の皆さんの意見を聞くに、教育委員会としてそこをしっかりと提示しなければならないと考えています。

現在、倉吉市から東小に通わせたいと転入された方もいらっしゃる、地域外へ転居される方もいらっしゃるけれども、東小学校のきめ細かな 1 人 1 人を大事にする教育を求められる保護者の方も多いたと考えられます。

3 校統合は間違いなくすべきと思っています。保護者にきちんと説明し、納得していただくことが大事だと考えます。学校教育に関して保護者の協力というものが大きいと思います。教育大綱をもっと具体的にして、どういう教育を目指すのか、そして、将来的にそれに見合う校舎を作り、三朝町だから出来ることをやっていって、他の市町からも注目されるナンバーワン、ナンバーワンの教育を目指していきます。